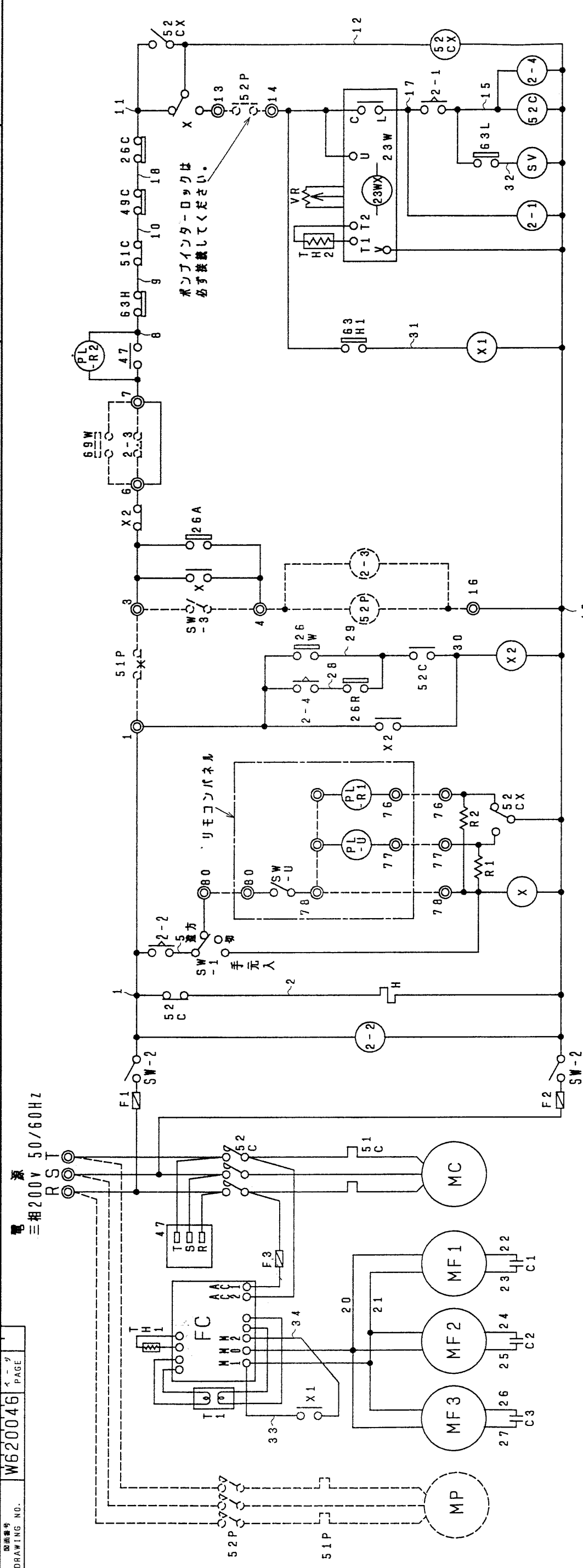




ポンプインターロックは必ず接続してください。

ユニット内蔵部品

記号	名	称	記号	名	称	記号	名	称
MC	圧縮機用電動機		VR	可変抵抗器<冷水温度調節>		26W	温度開閉器<断水、熱交ブレ>	SW-U
MF1, 2, 3	送風機用電動機		47	逆相防止器		26R	温度開閉器<断水、冷媒配管>	SW-1
52C	電磁接触器<圧縮機>		T1	変圧器		26C	温度開閉器<吐出温度>	SW-2
51C	過電流継電器<圧縮機>		C1, 2, 3	コンデンサ<送風機電動機>		PL-R1	表示灯<点検>	F1, 2, 3
49C	温度開閉器<圧縮機>		H	電熱器<クランクケース>		PL-R2	表示灯<逆相警報>	23WX
FC	送風機コントローラ		TH1, 2	サーミスタ		PL-U	表示灯<運転>	X, X1, X2
63H, 63L	高圧圧力開閉器		R1, 2	抵抗		2-1	遅延継電器<冷水制御>	23W
63L	低圧圧力開閉器<電磁弁>		23W	温度調節器<冷水制御>		2-2	遅延継電器<5分>	X, X1, X2
SV	電磁弁		26A	温度開閉器<ポンプ自動運転>		2-4	遅延継電器<5秒>	52CX
							遅延継電器<55秒>	

現地手配部品

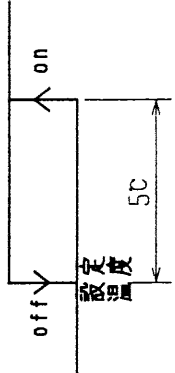
記号	名	称
MP	ポンプ用電動機	
52P	電磁接触器<ポンプ>	
51P	熱動過電流継電器<ポンプ>	
69W	断水リレー	
2-3	遅延リレー<AC200V10秒>	
SW-3	スイッチ<ポンプ強制運転>	

- 注1. ◎印端子は現地接続用端子を示します。
2. -----破線部分は現地工事区分を示します。
3. -----破線で示す機器は現地手配品であり、ユニットには付属しません。
4. 52P、51Pはユニット本体の制御盤内に、現地に組込可能です。
5. 現地工事の際、端子台④-⑬間に52Pのコイルを接続し、端子台①-③、⑬-⑭間にポンプインターロック、即ち51P、52Pの接続をしてください。

6. 断水により温度開閉器26W、26Rが作動した場合、機器は保護できず、温度条件によっては凍結の為、通水量が元に戻るまでに、1時間以上かかる場合があります。これをさけるため、断水リレーを接続し、端子台④-⑬間に遅延リレーの coils を接続し、端子台⑥-⑦の短絡線を取外し、断水リレーの接点を接続してください。

7. 温度開閉器26W、26R作動時のリセットは原因を取り除き、十分な通水により水を完全に氷解させた後、製品本体のサービスイッチSW-2で行なってください。その他の保護装置はリモコンパネルのSW-Uでもリセット可能です。
8. 制御回路には低外気温時の冷水の自然凍結を防止させるために機械室温度が3℃以下になると冷水ポンプを自動的に運転させる機能を組込みます。低外気温時に水抜きを行なう場合は、この機能が作動しないように52Pのコイルと直列にスイッチを接続し、水抜き時はこのスイッチを「切」にしてください。

9. 温度調節器23W（冷水制御）は下図の動作となります。運転スイッチSW-Uを入れた直後はon値にて動作します。



MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

MCA-190A, 250A接続図

USER FILE

阿 部 根 来

96-10-19
矢 野
阿 部
津 本

NTS
=

W620046